

腑抜け NO会

趣旨

- ・ 伴侶に先立たれた人々が、悩みを打ち明け、残りの人生をどう充実して生きていくかの交流の場。
- ・ 意義ある余生を送り、亡き伴侶に恥じない生き方をめざす。
- ・ そのために、お互いの悩み、要望を解決し、趣味などの広がり、前向きな生き方を求めて様々な人の力を借りて実現していく。
- ・ 一人ぼっちの人に手を差しのべる。

会則

- ・ 趣旨に賛同する人で「腑抜けNO会」を構成する。
- ・ 構成要件は、「加入申込書」記入と年間500円の会費納入とする。又、毎回の会合で会場費（寄付）を募る。（1口）
- ・ 性別・年齢・国籍不問。
- ・ 加入、脱退は自由。
- ・ お互いのプライバシーは守り、社会的モラルを守る。

体制・事務所

代表 原田敬一 事務局長 富田秀信 事務局 若干名
事務所 当面、事務局長宅を連絡先にする。

ご挨拶

原田敬一（元佛教大学 歴史学部教授）

いよいよ「腑抜けNO会」の発足です。

私たちが愛する人と別れてから「腑抜け」状態になっていることを彼・彼女が望んでいるとはまったく思いません。「一人でも生きて行ってね」と悲しくも伝えてくれたのが彼・彼女だったと思います。私などは「憎まれっ子世に憚る、だから、まだ、来なくていいよ」とまで言われたものでした。人は独りでは生きていきにくいだけではなく、結ばれた私たちでしたが、その別れは辛く、堪えにくいものでした。そうした私たちが、思いを聞いてもらう、聞いてあげる、という関係は、長寿社会になった現代社会に必要なもののような気がします。「同病相憐れむ」という古いことわざがありますが、その意味も含めて思いっきり話してみませんか。

伴侶を亡くして

長い闘病と看護の末……。

突然死、不慮の事故で……。

震災に遭って……。

最愛の夫、妻を亡くした悲しみ寂しさは
時が解決するのか？

遺影を見ながら泣く毎日、
捨てられない伴侶の遺品。

誰かと喋っている内は気分が落ち着くが、
夜一人になると……。

男って、買物、調理が下手で、
同じ味付けで食事が嫌になる。

いっそ自殺して、
夫、妻のもとに行きたい。

何もやる気が起こらない。

などなど 腑抜けの毎日。

亡くなられた伴侶は、あなたを見てますよ

—— 先に逝く方と残された方、どっちが辛いだろうって？
残される方が絶対辛いよね。じゃあ俺、辛い方引き受けようって ——

—— 自分の生と死のわずかな前後、そのわずかな時間が悲しい ——

TVドラマ<やすらぎの郷>から

そんなあなたを「千の風」になった伴侶は「しっかりして」と見てますよ。

悲しさ寂しさから立ち直るには、同じ境遇の人と語り合うことから。暮らし、健康、
終活など。

気持ちが吹っ切れ、新たな一歩を進んでいる人は多いです。

一緒に

新たな一歩を専門家の力を借りて、
趣味・ボランティアなどの社会参加で
伴侶が喜ぶ第二の人生を生きいきと送
りましょう。

♪ 音楽、写真、歩こう会などの趣味を
持ちましょう。

🌱 ボランティアなどの社会参加をしま
しょう。

✎ 年金、要介護など専門家のアドバイ
スで自分の今後を考えましょう。

入会申込書

ご住所 〒 _____

(フリガナ)

お名前 _____

<連絡方法>

電話 _____

FAX _____

携帯 _____

「郵便で連絡」を希望する

*切り取って郵送かFAXしてください。